

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 岡山市立足守小学校_____

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒701-1463 _____
 岡山市北区足守789 _____

E-mail ashimoris@city-okayama.ed.jp _____

Website _____

児童生徒数 男子 98 名 女子 92 名 合計 190 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

1 第3学年 足守の町や施設・特産品などを調べる学習活動

① 「足守の町をたんけんしよう」

○5月～6月 ○足守学区内 ○児童32名

○侍屋敷・近水園・町なみ館・藤田千年治邸・足守プラザ等地域の文化財や施設を巡って見学をした。各施設で案内ボランティアの方から施設の説明を聞いて、足守の歴史や町の良さについて再発見できた。グループごとにカメラを持ち、写真をとって教室での振り返りに生かした。また、町の地図を作り、足守の町の様子を表現した。

② 「足守メロンのひみつ」

○6月末 ○メロン農家（メロン栽培の見学）○児童32名

○足守メロンの栽培の様子を見学し、農家の方の工夫や努力を知ることができた。写真や絵から分かったことを各自で新聞にまとめた。

③ 「昔の暮らし」

○1月 ○児童32名 ○昔の暮らしや道具についてインタビューや図書の本で調べ、暮らしや道具の移り変わりについて理解を深めた。また、地域ボランティアの方を招き、昔の道具について、話を聞いたり、実際に道具を使って体験したりした。

2 第4学年 足守の自然や特産物を調べる活動

① 「足守川について調べよう」

○6月 ○足守川 ○児童38名

○足守川の生き物の調査を行って、水槽で観察した。足守川の自然に触れることができた。アスエコの講師の方から足守川に住んでいる魚の種類や水質について説明を受けた。



② 「ごぼうのひみつを調べよう」

○5月～12月 ○学級園など ○児童38名

○地域のごぼう農家の方にごぼうの育て方を聞き、学級園の土とごぼう農家の土でごぼうを育てた。その後、食教育として、「根菜パワー発見」と題して、根菜が体に良いことについて見直す授業を行った。また、ごぼうを使ったお菓子作りを保護者とともに行った。



3 第5学年 米作りについて調べる学習活動

① 「めざせ米作りマイスター」

○5月～12月 ○学校周辺の田んぼ・校庭 ○児童34名

○地域の米作り農家の田んぼに見学に行ったり、米作りについてインタビューをしたりして、米作りの工夫や苦労について学習した。またバケツ稲を育て、稲刈り・もみすりなどを体験した。自分たちで米と大豆から味噌作りを行い、家庭科と関連して、ごはんとみそ汁の調理実習をした。また食育と関連して、「発見！和食のすばらしさ」の中で、和食の栄養バランスや、発酵食品の素晴らしさ等を学習し、米パワーについて改めて見直すことができた。



4 第6学年 足守の歴史と偉人を調べる学習活動

①「足守の歴史と偉人を調べよう」

○4月～11月 ○学校の近くにある緒方洪庵生誕地など ○児童33名

○足守の偉人「緒方洪庵」「木下利玄」の人物像や功績などを調べ、「洪庵祭」や「利玄祭」において、全校児童の前で、劇や年表、クイズなどにして発表した。洪庵顕彰会の方に、詳しく話を聞き、洪庵について地域の偉人の素晴らしさについて、理解を深めることができた。



②「エコプロジェクト～エコライフを実践しよう～」

○11月～12月 ○児童33名 ○インターネットや図書の本などで興味をもった環境問題について調べ学習を行った。また家庭科「すずしく過ごそう エコライフ」と関連させて、自分たちにできるエコ生活の実践について考えた。校内放送で呼び掛けたり、各学年にポスターを配ったり、チェック隊が電気を消して回ったりして、活動を行った。

2. 取組の成果

○食育の研究会と関連して、ごぼう農家の方とのつながりができ、地域の新たな魅力を発見することができた。また、和食の良さを調べる活動と米作りや味噌作りがつながり、米づくりと自分たちの食生活の関わりを深さを感じることができた。昨年の活動に加えて、食の未来を考える新しい学習を組むことができた。

○今まで継続的に取り組んできた足守ならではの学習でも、児童は積極的に体験活動に参加することができた。そして、地域に関わることで、今まで身近にありながらよく知らなかった地域の産業や歴史などへの理解を深め、より足守のことを知りたい、関わりたい、伝えたいという思いをもつことができた。

3. 今後の課題

○学校として、現在取り組んでいる活動が、持続可能な社会の実現のためにどのようにつながっているのかという意識や理解を深めていきたい。そのために、校内研修で講師を招き、ESDの考え方やあり方を学んでいきたい。

○各学年の取り組みにおいて、「興味を持つ」「調べる」「まとめる」「発表する」までの流れはできつつあるが、さらにそこから新たな課題を見つけて広げる、深める活動までにしていくにはどうしたらよいか課題である。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()